
 $STBJ=_1-_{2}-_{3}V_{2}-_{3}(N_0.20)$

あけましておめでとうございます。 昨年は大変お世話になりました。 本年もよろしくお願い致します。

STBJでは、個人会員の皆様とのコミュニケーションを 活発にしていきたいと考えております。 メールアドレスをお持ちの皆様にSTBJの活動を ニュースレターとしてご紹介させて頂いています。

2013年11月~12月

STBJ活動報告

【2013年12月16日】

第8回 STBJ 総会の実施

理事会:17:00~18:00 / 出席理事 12 人 委任 15 人 (新理事除<理事合計 34 人)

総会:18:00~19:00 / 出席 31 人 委任 618 人 (個人会員 合計 948 人)

レセプション:19:00~ / 参加 22名 会計 収入(レセプション費として寄附) ¥14000 支出(飲み物、スナック、サンドイッチ)¥13917

<議題>(資料 http://www.stoptb.jp/)

- 1. 2013 年度 事業活動報告
- 2. 2014年度 事業計画、重点活動、
- 3. 人事 新理事として、井戸武實氏が就任 (ストップ結核パートナーシップ関西 事務局長、 特定非営利活動法人 HEALTH SUPPORT OSAKA、 財団法人 大阪公衆衛生協会事務局長)
- →承認された。

<特別講演> (資料 http://www.stoptb.jp/)

「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに向けた取組み」 外務省 国際協力局 国際保健政策室 稲岡 恵美

感染症対策なしでは UHC 達成はありえない。

【2013年11月5日】

第37回常任理事会の開催

時間:17:00~19:00 場所:水道橋ビル5F

- 総会の議題について
- ・世界結核肺疾患予防連合世界会議より「post 2015 TB strategy」の紹介。
- ・イサンゴ・アンサンブルによる「ラ・ボエーム」
- ・インドネシアワヤンを活用した啓発活動
- · H26 年度概算要求
- ・記者発表、公衆衛生学会、グローバルフェスタなどについての報告他

【2013年12月5日】

第38回常任理事会の開催

時間:17:00-19:00 場所:水道橋ビル5F

- ・総会の議題について
- ・イサンゴ・アンサンブルによる「ラ・ボエーム」
- ・インドネシアワヤンを活用した啓発活動
- ·STB 関西から報告

定例の「大阪ホームレス健康問題研究会」 主催 NPO ヘルスサポート大阪 共催 STB 関西

平成 25 年 12 月 19 日 (木) 18:30~20:30

Oところ 太 子福祉館 (100 YEN SHOP FLET'S) 3階 集会所

http://maps.google.co.jp/maps?hl=ja&tab=wl

- ①「あいりん地域における高齢日雇い労働者の役割」
 - ~現場目線からの健康問題~

話題提供者:釜ヶ崎支援機構 藤本 敬三 氏

- ②「特別清掃就労者の健康問題」
- ~あいりん地域における医療への期待~

話題提供者:釜ヶ崎支援機構 田中 義則 氏

=外部会議等への参加=

【2013年12月12日】

第 112 回 GII/IDI に関する外務省/NGO 懇談会への参加

時間:15:00~17:00

場所:外務省中央 669 号室

第3回保健人材グローバル・フォーラムについて(JICA 人間開発部小林次長) ブラジル、レシフェにて

UHC にむけて、保健人材の育成、保健人材に関する制度づくり、

保健人材の配置、維持・管理、保健人材のエンパワーメントとインセンティブ、

2030 年に向けた UHC における保健人材の役割などをが課題となった。

- ・来年度の保健関連スケジュール MOFA 小沼室長
- ・UHC 日本・世界銀行共同研究プログラムについて MOFA 稲岡さん 12/5-6 世銀との研究結果発表について、2014年秋前までに施策を提案していく。 日本は世銀と連携しながら、グローバルイニシアティブをとる。 バイラテラルの強化、JICAとの連携など。

=啓発活動=

【2013年11月28日】

結核に関する勉強会の実施

場所:東京芸術劇場ミーティングルーム S7 19:00-21:00 「結核ってどんな病気?~基礎知識から世界の現状まで~」

講師:村上久仁子先生

(結核予防会結核研究所国際協力・結核国際情報センター国際研修科主任)

一般の方々に向けて、わかりやすく結核病気や

その活動についての紹介がされました。

=その他=

プッチーニ 「ラ・ボエーム」の公演について

場所:東京芸術劇場 プレイハウス

期間:12/19-22まで。

http://www.jcie.or.jp/fgfj/laboheme/reception.html

1830年代のパリを舞台にしたプッチーニの名作オペラ「ラ・ボエーム」が、

南アフリカのタウンシップ(黒人居住地)を舞台に生まれ変わった。

プッチーニの音楽は、ほぼそのままにジャズやアフリカの伝統音楽も ミックスした、マリンバとスティールパンの生演奏と力強い歌声。 躍動感あふれるリズムにダンスも加わり、貧困や病気と闘う若者 たちの姿をダイナミックに描き出していました。 レセプションでは、安倍首相婦人も挨拶をされ、素晴らしい舞台となりました。

-----***☆----**-***☆ ☆--*☆-----**☆ ※このニュースレターの配信を希望されない方は
下記メールアドレスまでお知らせください。

<u>kaiin@stoptb.jp</u> (担当 宮本/下谷)
-----***☆----***☆--*☆---***☆